



絆ぞうり

3月10日、奥山町長と長沢親和会の富樫市男会長ら3名がみなさんの作った「絆ぞうり」1000足を石巻市の避難所(渡波第1・2、大橋、万石浦団地)1000世帯に届けました。

みなさんのご協力に心から感謝です。



ふれあい卓球

3月4日、毎年恒例の東部地区ふれあい卓球交流大会が生涯学習センターを会場に開催。小学2年の高橋彩佳ちゃん(内山)から最年長82歳の高橋正巳さん(長沢第3)まで約40名が参加しました。



ストレッチ

3月3日、スポーツ少年団最上支部指導者・育成母集団研修会がB&G海洋センターで開催。東京女子体育大体育学部の覚張秀樹教授を招いて『ジュニア期の効果的なスポーツ指導法』と題した講演が行なわれました。その後の実技研修では肩・股関節のストレッチなどに取り組みました。

参加者の一人は「今までとは別の視点から体の仕組みについて考える機会でした。子どもたちと試したい。」と話していました。



介護予防体操

花のやまがたしゃんしゃん体操は、県民誰もが慣れ親しんでいる「花笠音頭」に合わせて行う体操です。約40名がこの運動と顔体操教室などを約3か月間実践し、3月3日に県立保健医療大学の協力で筋力・バランス・柔軟性・口腔機能テストなどで効果の検証が行われました。

参加者は、実施前に比べて「片足立ちできる時間がのびた」「足の力が付いた」そして「毎週出かけてくるのが楽しかった」など大変好評でした。

Old Kyu News(平成24年3月)



コサージュ

3月3日、富長小学校の母親委員がコサージュづくりを行いました。この活動は卒業式のために毎年恒例となっています。「まゆ」で作られたピンクと白のコサージュは子どもたちと担任の先生の胸でまばゆく輝くことでしょう。

Old Kyu News(平成24年2月)



消防団をバックアップ

2月1日、町消防団協力事業所表示証が株式会社柿崎建設工業に交付されました。この制度は地域防災力強化のために消防団活動に取り組んでいる事業所へ表示証を交付するものです。



盤上の攻防

2月11日、恒例の舟形町囲碁・将棋大会が開催され、実力別のブロックに分かれて熱戦を繰り広げました。今回は、子どもたちもたくさん参加し活躍しました。結果は以下のとおりです。また、プロ棋士の川上猛六段を招いて「子どもふれあい将棋教室」も行われ、10名の子どもたちが参加しました。

【囲碁の部(37名)優勝】

Aクラス 佐田哲(新庄市) Bクラス 今田陸(天童市)

Cクラス 間元昭(新庄市)

【将棋の部(27名)優勝】

Aクラス 門田健一(酒田市) Bクラス 丸子滋(山形市)



除雪ボランティア

2月13～14日、愛知県立大学教育福祉学部の佐野治准教授のゼミ学生8名が認知症予防についての講演会を開催。今回は、高齢者世帯の除雪ボランティアも行いました。



教育功労表彰

2月20日、平成23年度の教育功労者表彰式が舟形町役場で行われ、受賞者一人ひとりに太田二三男教育委員長が表彰状を手渡しました。

この表彰は、町の教育・芸術・文化の向上と発展に貢献された方を対象に贈られるもので、今年度は15名の個人と2団体が受賞されました。なお、小・中学生の部の表彰は、各学校で行われています。



無投票で当選

任期満了に伴う舟形町長選挙が2月7日に告示されました。午前8時30分から立候補の受付が始まり、午後5時に締め切られた結果、現職で二期目を目指す奥山知雄氏(66歳)の他に届出者はなく、無投票で再選されました。これを受け町選挙管理委員会では、2月13日午前には選挙会を開き、同日午後、奥山氏に佐藤順子選挙管理委員長より当選証書が附与されました。



遊々塾

2月18日、生涯学習センターで長沢遊々塾「冬季自然体験学習」が行なわれ、55名が参加しました。凧作り体験、自然観察、雪山遊びで地域の自然を楽しみました。地域の協力で今年も5回の遊々塾が行なわれました。



ラーズボール卓球

2月19日、町ラーズボール卓球大会が行われ、約50名の愛好者が日頃の練習の成果を競い合いました。結果は次のとおり。

【個人男子優勝】

Aクラス 沼澤正則(舟形第1)
Bクラス 高橋喜美男(長沢第3)
Cクラス 武田良二(新庄市)

【個人女子優勝】

Aクラス 大場美代子(新庄市)
Bクラス 眞見静子(舟形第4)
Cクラス 尾形静江(長沢第2)

【ふれあいダブルス優勝】

高橋喜一(新庄市)
神尾紀子(新庄市)



ティーボール

ティーボールとは、止まっているボールを打つ、野球によく似たゲーム。2月26日、舟形ビックサンダーズがこのゲームの楽しさを広めようと親子教室を生涯学習センターで開催。大きな歓声に包まれました。



陶芸で合コン

2月26日、薫風窯で「陶芸で合コン」が行なわれました。舟形観光情報館が企画したもので、男女8名が参加。協同作業をすることで、いつもより会話も弾み、男女の親密度がアップしたのではないのでしょうか。



期待の新星

県立農業大学校の佐藤真奈美さん(沖の原)が全国農業大学校等プロジェクト発表会・交換大会で特別賞を授賞。2月24日、その報告に奥山町長を訪れました。

佐藤さんは大学校の農産加工コースに所属。東日本ブロック代表として選出され、「我が家の六次産業化で地域を変える」と題し、約300名の聴衆を前に発表しました。「水稻や園芸作物などで六次産業化を現実するためにこれから頑張りたい」と話していました。



冬のイベント

2月25日、Funagata Winter Fes. 2012が若あゆ温泉ふれあい広場で青年団体「FITS」の企画で開催。たくさんの親子が訪れ、イグルーと呼ばれるかまくらや大きなすべり台などで冬の遊びを満喫しました。また、オリジナルキャンドル作りも行なわれ、夜にはたくさんの灯が会場を彩りました。

「地域の触れあいのために、そして若者同士の団結のためにこれからも続けていきたい。」とFITS代表の沼澤龍さんが話してくれました。



地域の課題は？

2月29日、富田公民館で約30名の参加者のもと、高崎経済大学の櫻井常矢准教授を迎えての地域づくり研修会が行われました。富田町内会では町の地域づくり支援事業を活用して地域課題の解決に取り組んでいます。



婚活

1月28日、舟形町婚活事業「恋の胸さわぎ2012winter」が玉姫殿で開催され、町ともがみ南部商工会青年部舟形支部が新しい出会いを創造するとともに若者定住を目指そうと企画したもので、男女約100名が参加しました。

山形住みます芸人の三浦友香さんが恋のスペシャルサポーターとして参加するなど、ビュッフェ形式のカップリングパーティーで盛り上がり、6組のカップルが誕生しました。町では出会いの場の創出として今後も継続的に取り組んでいく予定です。



救急車両

1月27日、最上広域消防署南支署に高規格救急車を配備。これには、救命士による高度な処置を行うための資機材が積載されています。また、防振架台も装備しています。



ようこそ先輩

1月18日、キャリア教育の一環として舟形小学校で『ようこそ先輩』が行われました。今回は、NHK制作局で経済・社会情報番組を手掛ける伊藤道大さん(舟形第4出身)から「メディアとわたしたち」というテーマで5・6年生の児童と保護者を対象に講演していただきました。

伊藤さんからは、メディアとの関わり方や子どもたちが興味ある番組のお話のほか、「努力の積み重ねが夢の実現につながる。」というメッセージをもらいました。



新春恒例

1月22日、第25回新春町民なわとび大会を開催。24チーム、323名が交流を深めました。一般男子の部で、チームF6と長者原町内会が大会新記録を更新しました。結果は次の通りです。

【団体の部】

◎小学生の部	優 勝	TOMINAGA	13310回
	準優勝	舟小ホワイトスターズ	152回
	第3位	舟小レッドスターズ	126回
◎中学生の部	優 勝	舟形中野球部	206回
	準優勝	舟形中ソフトテニスクラブ	96回
	第3位	ほしな一ず	47回
◎一般の部	優 勝	チームF6	183回
		(大会新記録)	
	準優勝	長者原町内会	136回(〃)
	第3位	舟形ビックビックサンダーズ	70回



いきいき元気教室

1月17日、いきいき元気教室を西又公民館で参加者12名のもと開催。輪投げや福笑いなどに挑戦しました。次回は2月の予定です。

雪が多いですが、みんなで集まって楽しい時間を一緒に過ごしましょう。



ふれあい育児の広場

1月13日、子育て支援センターみらいのふれあい育児の広場で「水木団子」の飾り付けを行いました。11名の参加者はまゆ玉や折り紙で折った鶴などで水木の枝を色どりしました。次回は2月3日「節分」の予定です。



豪雪対策本部

1月10日、断続的に雪が降り続き、大雪に警戒する必要があることから、町では雪害を未然に防止するために舟形町豪雪対策本部(本部長奥山知雄町長)を設置しました。今後も安全な除雪作業、雪崩被害防止、農業被害防止などに十分注意してください。また、高齢者や一人暮らしの世帯などで、除雪や日常生活などに困っている方は、民生児童委員や町に相談してください。

舟形町豪雪対策本部

舟形町総務課総務班

電話(32)2111(内線231)



御柴灯

1月7日、舟形八幡神社で「御柴灯」が行われ、今年1年の家内安全と五穀豊穡を祈願しました。古くなった御札などを燃やして身払いを行うこの御柴灯は、毎年「七草」の日に行われる恒例行事で、舟形連合町内会と八幡神社氏子のみなさんが中心となり実施しています。

この行事は、町内各地区においても行われ、伝統が受け継がれるとともに地域交流の場としても重要な役割を果たしています。

Old Kyu News(平成24年1月)



初詣

1月1日、猿羽根山地蔵尊での初詣に多くの方が訪れ、一年の幸せを祈願しました。また、邪悪なものから家を守る授与品「破魔矢」を受けていく方がたくさんいました。この初詣は三が日まで行われました。

Old Kyu News(平成23年12月)



良いお年を

12月29日～1月3日にかけて公共施設が休業となります。なお、舟形町役場では期間中、出生、婚姻などの戸籍届出はできます。詳しくは、広報ふながた12月号のふれあい広場をご覧ください。

12月31日～1月3日まで、猿羽根山地蔵尊へ初詣ができません。冬期間は閉鎖となっている猿羽根山ですが、年末年始にかけては通行できます。

みなさん、良いお年をお迎えください。



山ぶどう

12月15日、山ぶどうビネガーと山ぶどう酒の完成披露会が中央公民館で開催。招待者や関係者ら約60名が山ぶどうの魅力をPRしました。ぜひ、味わい深いぶどう酒をご賞味ください。

販売: 万世商店 電話(32)2018



沖の原でなめこまつり

12月11日、沖の原採草地組合(組合長武田吉雄さん)が初めての「なめこまつり」を町内会と協賛で沖の原公民館で開催しました。採草地整備で伐採した桜の木などに植えたもので、なめこ汁やなめこおろしで肉厚でぬめりが強いなめこに舌鼓を打ちました。

武田さんは「一昨年からは環境整備を始めて、今年も200本のほだ木に植菌しました。地区をあげて共有財産である採草地これからも守っていきたい。」と話しました。



ふるさとCM大賞

地元の魅力やイメージをアピールする手作りCMの祭典、「山形ふるさとCM大賞」に今回は『縄文の女神』が参加しました。

12月6日、その模様が放送され、アイデア賞を授賞しました。年間90本放送されます。「FITS」と「Tmプロジェクト」の企画で、来年の出土20周年記念イベント「縄文炎祭」もPRしました。



絆ぞうり

一步一步、前進して欲しいという願いをこめた絆ぞうり。長沢親和会(会長富樫市男さん)とともに、布で1,000組のぞうりを作り、石巻市などで避難生活をしている方々に元気を送るボランティアを募集します。

12月5日、生涯学習センターでの開催をかわきりに、今後は平日午前9時から正午まで開催します。



伊藤光雄さんに藍綬褒章

農林業センサス調査員のご功績により、伊藤光雄さん(大平)が平成23年秋の「藍綬褒章」を受章され、12月2日、舟形町役場で信夫議長同席のもと、奥山町長より伝達されました。

伊藤さんは、昭和23年から53年間にわたり、農林業センサス10回、国勢調査11回など合計51回の各種統計調査に従事されました。調査の重要性・必要性を深く認識され、正確かつ迅速な統計の作成に尽力されました。

Old Kyu News(平成23年12月)



齊藤マチノさん100歳

12月1日、齊藤マチノさん(ほなみ)に長寿褒賞の賀詞と祝金が贈られました。齊藤さんは、大正元年12月1日生れ数えで100歳です。

夏は田畑を耕し、冬は炭焼きの手伝いや米俵・炭鋤俵づくりなどをしてきた齋藤さん。手先が器用で、布ぞうりをつくってほなみ飾ったりするそうです。また、饅頭やシュークリームなどやわらかくて甘いお菓子が好きとのことでした。これからも元気にお過ごしください。

Old Kyu News(平成23年11月)



コールせせらぎ演奏会

11月26日、コールせせらぎ演奏会が中央公民館で開催。「ハナミズキ」「赤いスイートピー」など計13曲を歌いあげました。節目の第10回演奏会で舟形中学校吹奏楽部も出演しました。



香港テレビ局

11月23日、若鮎交流塾が震災による「食」の風評被害払拭などをテーマにした香港テレビ局の番組制作に協力しました。「お米がとてもおいしい」などとても好評でした。



男性のための料理教室

11月22日と12月2日、男性のための料理教室が行われ、食生活改善推進協議会の方の指導でローストビーフに挑戦しました。参加者はクリスマスに家で作りますと話していました。



絵本作家講演会

11月20日、落語絵本シリーズでお馴染みの絵本作家の川端誠さんを招いて講演会と読み聞かせが中央公民館などで行われました。参加者は絵本の奥深さに引き込まれていました。



合同体育で交流

11月15日、舟形小学校で合同体育が行われ、交流を深めようと舟形小・長沢小5・6年生82名が参加しました。Weスポーツクラブ新庄の三原春佳さんを講師に迎え、マット運動に取り組んだ児童たち。舟形小6年の村上優花さんは「飛び込み前転の最後の着地が難しかった。」と話してくれました。



五橋中収穫感謝祭

11月15日、仙台市立五橋中学校の収穫感謝祭に米や旬の野菜を届けました。民泊受入家庭のみなさんら約40名のほかに、五橋中の保護者の方約70名が参加しました。



秋の味覚まつり

11月13日、舟形町観光情報館主催の「秋の味覚まつり」が生涯学習センターで開催。秋晴れの中、来場した方は蕎麦会の新そばや阿部肉店の芋煮などに舌鼓を打ちました。



大泉逸郎さん

11月9日、大泉逸郎さんが光生園とえんじゅ荘でコンサートを行いました。最北歌謡振興会が企画したもので、お馴染み「孫」や「いのち」などに大きな拍手が送られました。



ほなみ収穫祭

11月9日、地域に根付いた活動を目指す「ほなみ」と舟形第2老人クラブが収穫祭を行いました。新米「つや姫」のおにぎりと芋煮、歌「十二支の話」や踊りで楽しい一日となりました。



舟形町総合文化祭

11月8日～14日の7日間、町中央公民館を会場に舟形町総合文化祭が開催され、手芸品、絵画、俳句など計342点が展示されました。たくさんの方が訪れ、渾身の力作に見入っていました。



ふながた家族新聞コンクール

11月8日、第7回ふながた家族新聞コンクールの表彰式が行われました。家族の絆を深め、考える力と表現力を磨いてもらおうと、町教育委員会と山形新聞社、山形新聞舟形専売所(所長鈴木高規さん)が開催。テーマは「家族」「夢」「自然」「福祉」で、168点の応募がありました。

- 【3・4年の部】優秀賞 沼澤蓮(舟形小3年)
石川純乃介(長沢小4年)
豊岡楓華(富長小4年)
- 【5・6年の部】優秀賞 齋藤優羽(舟形小5年)
富樫太洋(富長小5年)
齊藤楓(舟形小6年)



総合防災訓練

11月6日、町総合防災訓練が横山地内で行われました。震度6の地震が発生したとの想定での訓練に約200名が参加し、非常召集訓練や非常時炊き出し訓練などを行いました。



加藤憲彦さん藍綬褒章

11月4日、平成23年「秋の褒章」の県知事伝達式が実施され、舟形町消防団長の加藤憲彦さんが藍綬褒章を受章されました。

加藤団長は平成9年9月に団長となり、消防団活動に精励され、現在は山形県消防協会の副会長としても活躍されています。この度、消防活動における永年の功労が認められての受章に、「団員と共に、町の安心安全のためにこれからもがんばりたい。」と話されました。



舟形町芸能フェスティバル

11月3日、町中央公民館を会場に約250名が参加して、舟形町芸能フェスティバルが開催されました。踊り、歌、詩吟、三味線などに大きな拍手が送られました。

Old Kyu News(平成23年11月)



第2回中学生議会

11月2日、舟形町第2回中学生議会が開かれました。地方自治と議会の役割を生徒たちに学んでもらおうと町議会と中学校が企画したもので、3年生40名のうち、10人が議員として出席。災害時の避難対策や小学校統合などについての一般質問を行いました。

早坂奈津美さんは、「みなさんの協力で議長という大役を務めることができました。とてもプラスになる体験でした。」と話していました。



舟形町自治功労表彰式

11月1日、今年度の舟形町自治功労表彰式が行われました。この表彰は、地方自治の振興、産業・経済の発展、学術・文化振興などに貢献された個人や団体を対象に授与される、町で最も名誉ある表彰です。

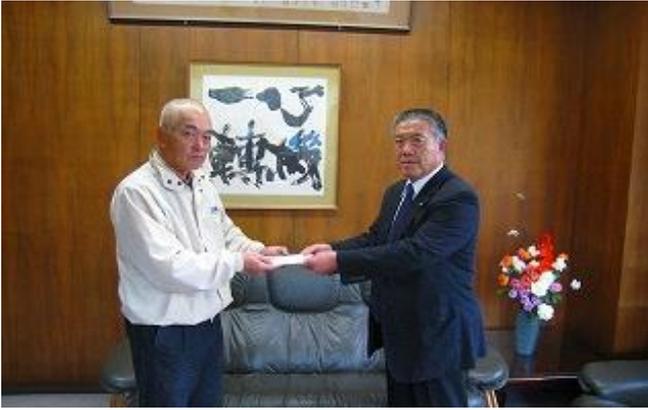
今回は、議会議員や人命救助に功績のあった方など、22名の方が栄えある受賞となりました。

Old Kyu News(平成23年10月)



縄文炎祭プレイベント

10月29日、縄文の女神出土20周年を来年に控え、縄文炎祭プレイベントが縄文女神の丘(西堀地区)で開催。TmプロジェクトとFITSが主催したもので、土器焼きやコンサートなどで賑わいました。



チャリティーコンペ

県民ゴルフ場で町民ゴルフ大会として2回のチャリティーコンペを開催した舟形町ゴルフ協会(会長伊藤和昭さん)。10月28日、45,400円を町社会福祉協議会に寄贈しました。



観光ボランティアガイド

10月28日、山形県観光ガイド育成研修が舟形町などを会場に行われました。この研修は、ガイドとしての必要な知識やマナーを身につけるために山形県が主催するもので、舟形町ではこぶしの里案内人(代表石川孝夫さん)が講師となり実際に猿羽根山地内を案内しました。

石川さんは「これからも、たくさんの方を通じて舟形町の魅力を広めていきたい。ボランティアガイドに興味のある方はぜひどうぞ。」と話していました。



民生委員児童委員連合会長表彰

10月27日、青森県で行われた全国民生委員児童委員大会で舟形町民生児童委員協議会(会長伊藤宏さん)が優良民生委員児童委員協議会の会長表彰を受賞しました。高齢者世帯の見守り活動や町と連携した災害時要援護者支援を積極的に推進していることが高く評価されました。

「大変栄誉ある賞。これからも地域に根付いた活動をしていきたい。」と伊藤さんは話しました。



親子食育教室

10月15日、堀内児童館母親クラブの親子食育教室が農村環境改善センターで行なわれ、35名が参加。「もがみねぎ」を使った特製もがみねぎチヂミや餃子などを作りました。



舟形町東京友の会

10月15日、第22回舟形町東京友の会(会長黒川信也さん)総会が東京都内で100名の参加のもと和やかに開催。2年に1回開催されているもので、奥山町長も参加しました。



ようこそ先輩

10月14日、長沢小学校でマラソン記録会&ようこそ先輩が行われました。児童たちは東京国際マラソンで優勝経験のある野町内会出身の菅野真貴子(旧姓伊藤)さんと一緒に走りました。



芸術鑑賞教室

10月12日、芸術鑑賞教室が舟形中学校で開催され、町内小中学生約400名が山形交響楽団の公演を鑑賞しました。オーケストラの本物の演奏を聴くことができました。



スポーツフェスティバル

10月9日、第19回舟形町スポーツフェスティバルが開催。爽やかな秋晴れのこの日、428名の参加者はソフトバレーボールなど10種目で交流を深めました。結果は次のとおりです。



耕作放棄地を活用

増加しつつある耕作放棄地を利用して、コケ緑化事業を行っている山形市の(株)モス山形。今回、舟形町堀内の実栗屋地内で山間部の約70aの農地を活用し、雪の深い最上地域で初めての実証実験を行なっています。

生産されたコケは屋根や壁面、駐車場などの緑化に使用されるとのこと。効率よく緑地面積を確保するほか、断熱効果もあり省エネルギー効果を高めることもできるようです。



「ありがとう」かけ合うことば おたがいに

10月11日、防犯広報作品コンクール表彰式が行なわれました。

●山形県防犯協会連合会表彰

中学生防犯ポスターの部 【佳作】内和美月(舟形中1年)

●最上地区防犯協会連合会長、新庄警察署長表彰

中学生防犯ポスターの部 【最優秀】内和美月(舟形中1年)

【優秀】豊岡紗奈(舟形中1年)

【優良】土田夢舞(舟形中2年)

小学生防犯標語の部

【最優秀】八鍬颯太(舟形小2年)

【優秀】甲州光(長沢小4年)

【優良】眞見渚(舟形小2年)



町村監査功労者に佐藤幸男さん

10月6日、前舟形町監査委員の佐藤幸男さんが平成23年度全国町村監査功労者表彰を受賞されました。

佐藤さんは、平成15年8月からの8年間にわたり、町監査委員として町財政の効率的な運営と町政発展に貢献されました。またその間、山形県町村監査委員協議会副会長を歴任するなど、地方自治発展のために尽力された功績が顕著であると認められての受賞となりました。



町消防団協力事業所表示証

10月3日、町消防団協力事業所表示証が(株)齋藤工務店と(有)丸産機興に交付されました。地域防災力強化のために消防団活動に取り組んでいる事業所へ交付されるものです。



情報公開審査会委員

10月3日、新しい情報公開審査会委員に辞令が交付されました。情報公開審査会は、公文書の開示請求に対する決定について、行政不服審査法に基づく不服申立てがあった場合、町長など実施機関の諮問に応じて開示、非開示決定の可否を審議するために設置しています。

早坂みつ子さん(富田第1)【左】

齋藤淳一さん(舟形第3)【中】

大場美佐子さん(長沢第1)【右】



B&G会長杯

10月2日、B&G会長杯争奪大会少年野球競技が舟形小学校で開催。初めて町外から3チームを招待した中、舟形ビッグサンダーズがチーム一丸となって見事に優勝を果たしました。



縄文土器製作教室

10月2日、西堀公民館で縄文土器製作教室が行われました。西堀町内会とTmプロジェクトが企画したもので、約30名が参加。金寛美先生の指導のもと土器をつくりあげました。「来年の『縄文の女神』出土20周年をみんなで盛り上げていきましょう。」とTmプロジェクトの代表叶内昌樹さん。

この土器は、10月29日にふながた女神の丘で行われる「縄文炎祭」イベントで『野焼き』焼成されます。



牡鹿半島へ

9月30日、舟形町復興ボランティアは牡鹿半島へ。参加者は9名。これからもまだまだ支援は必要のようです。



町敬老祝賀会

9月17日、中央公民館で町敬老祝賀会が行われました。数え77歳の喜寿を迎えられた89名の方と金婚を迎えられた16組のご夫婦に賀詞と祝品が贈られました。



五橋祭

9月10日、5月に舟形町を訪れた五橋中学校の文化祭「五橋祭」に自然田舎まるごと体験実行委員ら11人が参加しました。そばの振る舞いや旬の野菜の販売などを行いました。



第31回ふながた若鮎祭り

9月10日(土)、11日(日)、アユパークふながたを会場に「第31回ふながた若鮎まつり」が開催され、約24,000人のお客様が「舟形町」を満喫しました。

子どもエリアでは子ども鮎つかみどりやトーマス機関車など、ステージエリアでは芸能文化協会発表会や小学生の踊りや太鼓、ふるさとまつり、水前寺清子さんの歌謡ショーなどが行われました。さらに、食のエリアでは焼き鮎(約10,400匹)が特別価格の250円で提供されました。

また、今回は東日本大震災で被災し町に避難している方約30名や、宮城県・福島県などから約100名の方を招待したほか、来場したみなさんから被災地への義援金として47,898円をいただきました。

「舟形町から元気を」を合言葉に、笑顔いっぱいのまつりになりました。



檜沢五段

9月4日、第21回県将棋最強戦で檜沢英昭五段が第3位に入りました。7月に行なわれた第55回東北六県将棋大会でも活躍し、先方戦で3位に入るなどし団体4位に大きく貢献しました。



防災の備え

9月9日、西堀老人クラブ「山鳩会」(会長鈴木勝治さん)が購入希望者にヘルメットを配布しました。災害時着用はもちろんですが、防災意識の高揚につなげようとしたものです。



安藤ノフさん、白寿

9月7日、数えて99歳の白寿を迎える安藤ノフさん(舟形第4)に吉村美栄子県知事から賀詞が贈られました。安藤さんは足腰もしっかりしていて、三味線を弾いたりもします。

知事から健康の秘訣を聞かれると、「20年前から毎日続けているラジオ体操や好き嫌いなく食べることです。鮎も大好きですよ。」と答えました。また、今年県内で白寿を迎える479名を代表し、県知事から直接受け取ったことについて「とてもうれしいです。」と話していました。



おかひじき

9月1日、舟形小学校の学校給食におかひじき栽培倶楽部(代表伊藤啓さん)の生産した『舟形産清流シャキシャキおかひじき』が登場しました。今回のメニューは歯ごたえを活かした和風サラダです。

今後も『舟形産清流シャキシャキおかひじき』を広めていきたいと思います。



秋ナスは...

斉藤重年さん(舟形第3)の畑になったナス。収穫しようとしたらびっくり、まるで野球のグラブみたいです。漬けても焼いても食べ応え十分ですね。



舟形小唄

「鮎の香りは日本一、舟形良いとこヨイヨイヨイ」

舟形小唄は、舟形町独自の踊りです。9月3日、1週間後に控えた第31回ふながた若鮎まつりの中の「ふるさとまつり」で披露するために、練習会が行われました。約20名の参加者は、音楽に合わせ軽やかに踊っていました。

講師の木島静江先生「舟形小唄はみんなが気軽にできる、とても覚えやすい振付です。これからも、みんなで踊りましょうね。」と話していました。



故郷を訪れる

8月26日、最上市町村長・最上地域ふるさと連合懇談会が町中央公民館で開催されました。

首長と最上地域出身の首都圏在住者らが地域の活性化について意見を交わしました。



町青少年育成町民会議

8月31日、町青少年育成町民会議総会が町中央公民館で開催されました。「花いっぱいコンクール」で昨年度に優秀賞を受賞した木友町内会と今年度受賞した富田町内会が表彰されました。地域ぐるみ、みんなで伸ばそう！ふながたの子どものスローガンのもと今年度の計画などを確認しました。

PTA交流会も行われ、最上教育事務所の大場喜一氏をアドバイザーに地域と学校とPTAが連携した家庭教育活動への意見を交換しました。



高倉山遺跡

8月27日から9月7日にかけて、高倉山遺跡で発掘調査が行われました。調査主体は東北大学大学院文学研究科考古学室で12名が参加。遺跡からは、約2万年前の旧石器時代のナイフ形石器や搔器、石刃など約1,000点が出土しました。

今回の調査で佐野勝宏助教は「展示できるような大きく貴重なものが多数出土しました。今後詳しく、年代や分布範囲などの調査を進めます。」と話しました。



ほなみ増築

8月22日、地域密着型介護老人福祉施設「ほなみ」の増床工事の安全祈願祭が行われました。安全祈願祭には、奥山町長らも参加し、関係者約40名が出席しました。井上達磨理事長は「町の方々から親しまれる施設にしていきたい。」とあいさつしました。

現在の10床から29床に増やす予定です。また中央部に事務室やリビングを設け、職員と利用者が触れ合いやすい間取りとなっています。

Old Kyu News(平成23年8月)



縄文炎祭を成功させよう

縄文炎祭プレイベントを約2カ月後に控え、8月21日、Tmプロジェクトや西堀町内会らが始動式と会場となる縄文女神の丘の下刈を行いました。



復興ボランティア

8月19日、第1回舟形町復興ボランティアを行ないました。参加者は6名で被災地の石巻市で活動を行いました。

今後も舟形町復興ボランティアを募集します。今、私たち舟形町民の力が必要です。



琴福寿さん

8月17日、琴福寿さんが奥山町長を表敬訪問しました。

7月10日～24日の平成23年名古屋場所(愛知県体育館)では、4勝3敗と見事勝ち越した琴奥山さん。

東幕下55枚目から、淡々と関取の座を狙います。



盆踊り

8月14日、お盆恒例の長沢踊りが長沢農村公園で行われ、たくさんの方で賑わいました。

「盆が来たきた長沢へ」下駄を鳴らしてリズムをとるこの地域特有の盆踊りです。



絵画

8月9日、第4回カルチャースクール、夏休み「キッズ絵画教室」が開催され、小学生16名が参加。薫風窯の金先生から絵の具の使い方などプロの技を伝授されました。



ジュニア駅伝

8月7日、山形県ジュニア駅伝競走大会が蔵王高原坊平クロスカントリーコース(上山市)で開催され、小中学生が5区間でタスキをつなぎ、男子26位、女子28位と健闘しました。起伏の激しいコースに果敢に挑み、男子第4区で沼澤大輔くん(舟小6年)が区間5位と力走するなど、長年、町をあげて取り組んできた強化策が実を結びつつあります。

なお、蔵王坊平クロスカントリー大会も同時に開催されました。

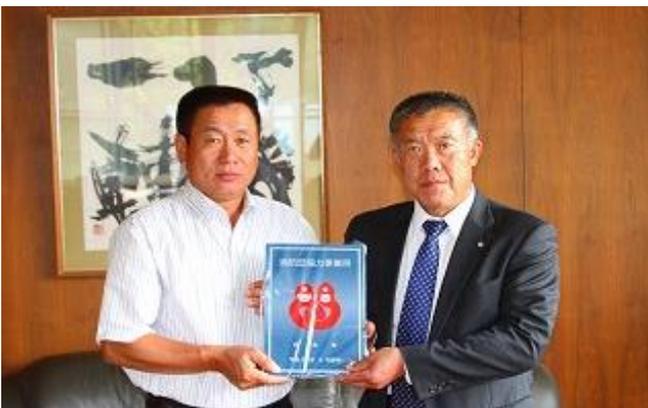


婚活

8月6日、婚活「恋の胸騒ぎ2011」が新庄玉姫殿を会場に開催され、定員を超える男24名、女23名が参加しました。

独身者同士の交流を図るため、もがみ南部商工会青年部が町から受託し、昨年からの実施しているもので、2回目の今回は1組のカップルしか成立しませんでした。今後の交流のためにと連絡先の交換が積極的に行なわれていたようでした。

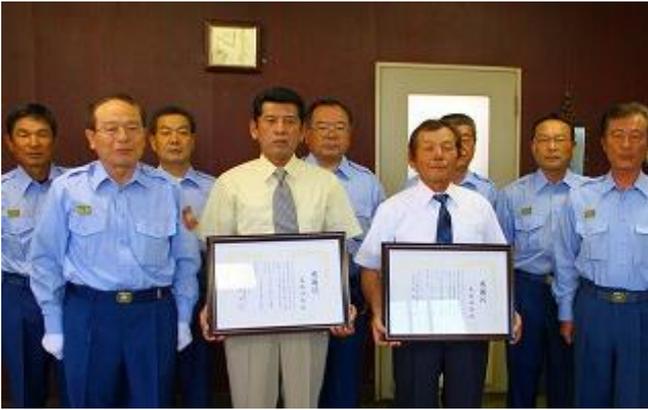
なお、秋以降は最上広域婚活事業実行委員会などでも婚活イベントが開催されます。



消防団を強かにバックアップ

8月1日、町消防団協力事業所表示証が(有)門脇産業(代表取締役門脇則行さん)(株)高橋塗装工業(代表取締役高橋勝英さん)に交付されました。この表示証は、地域防災力強化のために消防団活動へ積極的に取り組んでいる事業所などへ交付されるものです。

また、門脇産業さんは災害時に事業所の資材等を消防団に提供していただけたとのこと。地域全体で安心・安全な暮らしを守ります。



感謝状

福寿野地内で発生した火災の際に、自らの危険を顧みず人命救助にあたった原田好啓さんと富樫洋司さんに、7月22日、最上広域消防長から感謝状が贈られました。



献血でつなぐいのちの輪

障がい者支援施設「光生園」が日本赤十字社金色有功章を受章しました。7月22日に山形ビッグウイングで開催された第47回献血運動推進全国大会で授賞式が行われました。

光生園の献血事業への組織ぐるみの取り組みは、過去28年間で延べ59回、650名にのぼっています。副施設長の古澤吉彦さんは「今後も輸血を必要とする方々を支えていくために引き続き献血事業に取り組んでいきます。」と話してくれました。



伊藤俊作さんに瑞宝単光章

伊藤俊作さん(舟形第2)が平成23年春の叙勲「瑞宝単光章」を受章され、7月15日、ご家族と信夫議長同席のもと奥山町長より伝達されました。

伊藤さんは、昭和33年から51年間にわたって、9回の国勢調査など合計91回の各種統計調査に従事されました。また、平成13年からの8年間、町統計調査員協議会の会長を務められ、統計調査員の組織強化と資質の向上に尽力されました。



大公望の季節です

7月10日、シマノジャパンカップ鮎釣り選手権大会が小国川を会場に行われました。県内外から約160名が参加。この日の小国川は、ニゴリが入る非常に厳しいコンディションでしたが、全国大会を目指すアユ釣り自慢たちが、友釣りの釣技を発揮しました。

なお、この日釣りあげられた鮎は、学校給食に提供される予定です。ありがとうございました。



活気溢れる農業

7月8日、今年度初めての産業推進本部会議を開催しました。その中で、活気あふれる農業推進機構顧問の悪七喜喜さんから、人口減少、高齢化は避けられない社会の中でいかに小規模であっても、高齢者でも続けていける農業のあり方について講演をいただきました。



節電の夏！

7月7日、山形方式節電県民運動の一環として、エアコン使用を抑えた節電が県内一斉に行われ、昨年比19%の消費電力の削減に成功しました。

この日、町でも独自の節電として「NO」テレビデーを実施。家庭の状況に合わせた5つのレベルで、テレビを消す取り組みをしました。早坂健吾さん(富田第1)家族は「テレビを見ないことで、家族の会話が増えた気がします。」と話してくれました。



七夕

「おほしさまきらきら♪そらからみてる♪」

7月7日、舟形ほほえみ保育園で毎年恒例の七夕お楽しみ会が行われました。園児一人ひとりが短冊に願いを込めて、笹の葉につるしました。ぞう組の野尻京華ちゃんは「ケーキ屋さんになれますように」と短冊に記していました。



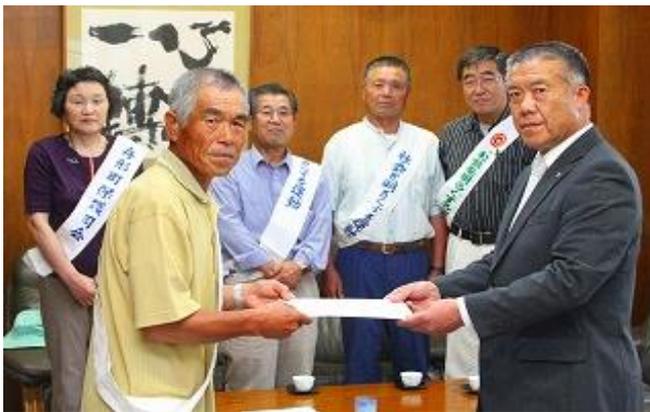
バドミントン愛好者大会

7月10日、舟形町バドミントン愛好者大会がB&G海洋センターを会場に開催されました。団体戦で争われたこの大会には町内外から45名が参加しました。



夏季勤労者野球大会

7月10日、夏季勤労者野球大会が開催され、ブレイカーズが優勝。また、30年以上も連盟の会長を務めた前会長の大場清さん(長沢第3)に感謝状が贈られました。



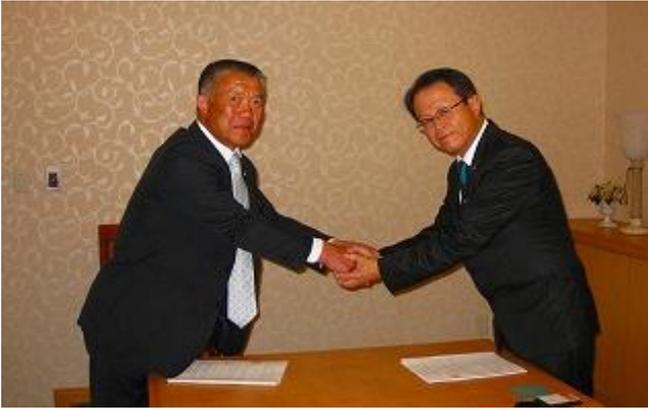
保護司が呼びかけ

7月1日、舟形町保護司会が舟形駅で非行防止の呼びかけを実施。町長へ「社会を明るくする運動」法務大臣メッセージの伝達も行いました。



小ねぎ選果場安全祈願祭

ニラに次いで、JA新庄もがみあげて産地化に取り組む「もがみねぎ」。今回、沖の原地内にねぎ選果場を整備するため、7月1日に安全祈願祭が行われました。



体験実習館に指定管理者

6月28日、NPO法人東北エコリサイクルネットワーク研究会(理事長笹島洋二さん)が農林漁業体験実習館の指定管理者となりました。

指定管理者とは、町が設置した施設を民間企業の力を活用して運営するものです。今後は、企業研修の受け入れ、観光農業体験などを企画したり、ニックネームを公募するなどして利用者の拡大を図っていく予定です。



ボランティアガイド

6月28日、最上エコポリスガイド養成講座の2回目が舟形町で開催されました。この研修は、人材育成のため継続的に開催しているもので、参加者は約30名。今回の案内人は、舟形観光ボランティア「こぶしの里案内人」のメンバーです。芭蕉の足跡を追って猿羽根山公園を巡った後は、(有)舟形マッシュルームの栽培舎や念仏の松などを案内しました。



地域の方と共にボランティア

6月19日、沖の原町内会と青少年育成推進委員、ボランティアサークル「ふなっ子」が沖の原インタージェンジ付近の草刈りとゴミ拾いを行いました。



イチヨウの木

八幡神社のイチヨウの木は約150年間、地域を見守ってきました。しかし、今後も余震が続くことが予想されることなどから、安全のために6月16日に伐採されました。



糖尿病予防検診

6月12・19日、富長・堀内地区を対象にした5年に1回の糖尿病予防検診が堀内小学校を会場に行われました。今回も特に「眼科」の項目が充実していて、約470名が参加しました。

今、日本では成人の約5.6人に1人が、糖尿病患者またはその予備軍です。成人の失明や人工透析の原因の第1位は糖尿病です。生活習慣改善と治療はもちろんのこと、早期発見のための定期検診がとても大切です。



やんまい送り

6月11日、舟形地区で病送りが行われました。この伝統行事は、田植え後の「さなぶり」の時期に古くから行われているもので、約80名が参加しました。「やんまい、にんげろ、にんげろや、にんげろにんげろ、にんげろや」という掛け声とともに、藁で作った人形と町内を練り歩き、無病息災を祈願しました。

この病送りは町内各地で受け継がれていて、内山・紫山・長沢地区でも同じ日に行なわれました。



記録に挑戦

6月8日、町内小学校陸上記録会が行われました。町内4小学校の4～6年生が100m走、走り幅跳び、走り高跳びなど学年ごとに別れて競技を行いました。

入賞されたみなさん、大変おめでとうございます。



田植えを体験

6月3日、舟形小学校の学校田で田植えが行われました。「とてもきれいに植えられました。稲刈りも楽しみ。」と児童の一人は話しました。

また、同じ日に富長小学校でも開催されました。



ふれあいヤクルト

舟形町社会福祉協議会では、一人暮らし高齢者の健康増進と見守りのために、ヤクルト配達事業を6月1日から行なっています。山形ヤクルト販売の阿部美恵子さん(左)中畠真由美さん(中)高橋裕子さん(右)が訪問しています。

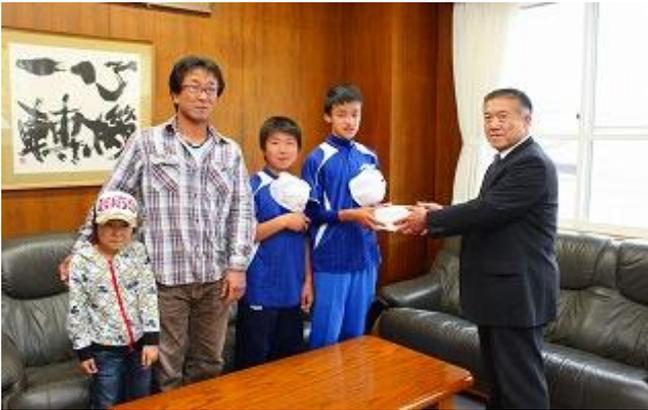
町内全域で登録者は現在約50名、平成24年3月まで試行的に行なわれます。



鮎

6月1日には地元の舟形町立舟形小学校の2学年児童19名が稚鮎の放流を体験しました。子どもたちは「元気で大きくなってね」などと声を掛けながら、泳いでいく稚鮎を見送っていました。

この稚鮎放流は毎年行っている恒例行事で、5月31日には長沢小学校の1・2・4年生も体験しました。



野球少年から野球少年へ

6月2日、舟形町野球スポーツ少年団の舟形ビックサンダーズの選手たちが東日本大震災の被災地へ義援金を届けようと町長を訪問しました。

「野球をやりたくてもできない仲間の力に少しでもなれば...。」とキャプテンの沼澤大輔くんが話してくれました。



本堂でオカリナ

5月29日、東日本大震災チャリティー「オカリナコンサート」が福昌寺で約300名の参加のもと開催。新庄市出身のオカリナ奏者小田原朝雄さんらが「コンドルは飛んでゆく」「故郷」などを奏でました。「少しでも役立ちたい」と植松昌山住職などが企画。入場料はすべて被災地への義援金としました。

小田原さんは、6月3日にも薬師の森とブナの実塾でも子どもたちを前に演奏しました。



節電県民運動

東日本大震災に伴う夏場の電力不足を回避するため、県が呼び掛けた節電県民運動「山形方式節電」の社会実験が25・31日に役所や企業、一般家庭など県内各所で実施されました。しかし、両日ともに目標に掲げていた「15%削減」には一歩届かなかった。

町内でもみなさんが協力して節電を行なっています。



ほほえみ歯科講話

5月31日、ほほえみ保育園でむし歯予防教室と、保護者を対象とした歯の健康講話を行いました。年長児さんは、カラーテスターで歯垢の染め出しを行い、汚れが残っている部分を鏡で見ながら歯磨きをしました。

その後、保護者や先生が磨き残し部分を確認し、仕上げ磨きを行いました。小学校卒業までは、仕上げ磨きが大切だということを学びました。



まちづくり審議会

5月30日、第1回まちづくり審議会が開催。公募で選ばれた12名の方が、みなさんを代表して町の課題や実施予定の施策について評価・優先度の審査などを行います。【会長◎、副会長○】

◎庄司正宏、○星川求一

伊藤欽一、阿部弘明、伊藤茂、武田仁、小野賢孝、安彦喜代子、尾形恵子、奥山ゆかり、沼澤寛美、近藤明子



小学校で運動会

5月29日、あいにくの天気となりましたが、町内4小学校で運動会が行われました。

富長小学校では、中学生が自主的にグラウンドの整備を行なってきていたのです。おかげで、リレー・応援合戦、そして町内対抗ムカデ競走などがグラウンドで行われました。

舟形小学校でも一部体育館でも開催となりました。元気な声が体育館に響きました。



交通事故防止活動に尽力

5月28日の地区安協定例総会で、交通安全協会舟形支部の渡邊重春前副支部長(一の関)が最上地区交通安全協会長・新庄警察署長連名表彰「特別交通功労章」を受賞されました。

永年に亘り交通事故防止活動に尽力されたことが評価されての受賞となりました。



おはよう運動

5月26日、舟形中学校など町内8カ所で「おはよう運動」を実施。青少年非行防止などのために町防犯協会と青少年育成町民会議が行なったものです。



世田谷区長を訪問

5月19日、奥山町長は新たに就任した保坂展人世田谷区長を訪問。児童交流や区民まつりを通し、舟形町と世田谷区の交流促進を約束しました。



舟中運動会

豪雪の影響で延期されていた舟形中学校の運動会が開催されました。今年のテーマは、「魂~魅せよう」です。

泥だらけになった、全校生徒141名の「心」が伝わる運動会となりました。



ドライブマナーキャンペーン

5月16日、安協舟形支部と交通安全母の会などがドライブマナーキャンペーンを実施しました。国道13号線脇の舟形橋パーキングで交通安全を呼びかけました。



かもしかクラブ

5月12日、ほほえみ保育園のかもしかクラブが新庄自動車学校を訪れました。道路の渡り方や車の降り方など、自動車学校の先生の指導のもと学習しました。



ほなみでおはなみ

5月9日、地域密着型福祉複合施設ほなみで、舟形第2老人クラブと合同の花見が行われ、54名が参加しました。本陣桜を眺めながら、昼食会や歌とゲームで楽しい一日となりました。



生きた英語

4月から小学校5・6年で年間35時間(週1コマ)の外国語活動(英語)が実施されています。5月13日、町内の小学校5年生の交流学習を兼ねた外国語活動が舟形小学校で行われました。

すっかりお馴染みの阿部フオード恵子先生を招いたこの活動。なかでも「レストランごっこ」では児童がお客さんになったり、シェフになったり、オーダーをとったりして「生きた英語」を体験しました。



予防できるがん子宮頸がん

今年度より舟形町では、子宮頸がん予防ワクチン接種の無料化を実施します。5月14日、子宮がんの知識を深めようと子宮頸がん予防ワクチン接種講演会が開催され、約20名が参加しました。講師の山形大学医学部産婦人科高橋一広准教授は「子宮頸がんは20～30歳代女性のがんの中で最も高い発症率です。しかし、予防接種と定期健診で予防することができます。」と話しました。

町では7月以降に、中学1年生～高校1年生までの女子生徒を対象に接種を開始します。



おかえり五橋中

5月11～12日、今年も仙台市五橋中学校の2年生214名が舟形町に帰って来ました。生徒たちは82世帯に民泊し、えんじゅ荘・光生園などへの訪問やそば打ち体験で、地域の魅力を満喫しました。

天候にも恵まれた田植え体験では「生まれて初めて。」という生徒がほとんどの中、泥だらけになりながら植え付けました。このひめのもちとはえぬきは丹精込めて生育され、秋には五橋中収穫祭で振る舞われます。



走るおにいさん、山口さん！

東日本大震災の影響で、県縦断駅伝競走大会が中止されたなか、4月29日、県運動公園縦断駅伝チャリティー大会が開催されました。岩手、宮城県を含む計18チームが熱いレースを繰り広げました。舟形町教育委員会の山口大陽さんは、第1区で8位となり、新庄・最上チーム3位入賞に貢献しました。

小学校での指導でも大人気の山口さん。次の試合は、6月4日の新庄選手権です。みなさんで応援に出かけましょう！



大昔の人々の暮らし

4月20日、長沢小学校で山形県埋蔵文化センターの齊藤主税さん(内山)を講師に迎えて、出前教室が行われました。児童たちは、西ノ前遺跡や長沢地区の遺跡など、大昔の人々の暮らしについて学び、火起こし体験や弓矢体験を行いました。

6年生の叶内彩さんは「狩りの様子からも縄文人は頭が良いと思いました。火起こしはとても大変で一分程度で火をつけていたなんて驚きです。」と話していました。



新しい農業委員会

農業委員会は、選挙によって選ばれた農業者の代表を中心に組織されています。任期は3年間です。【委員長◎、委員長代理○】

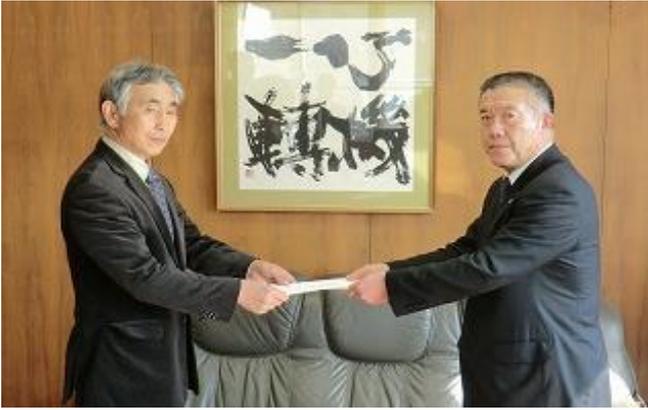
◎加藤勝義(富田第2)、○加藤嘉久(堀内)
奥山恵司(福寿野)、佐藤勇(沖の原)、星川俊則(舟形第3)、伊藤源士(野)、大場和司(長沢第1)、星川幸平(舟形第2・JA新庄もがみ推薦)、佐藤正良(太折・農業共済組合推薦)、遠藤繁雄(沖の原・土地改良区推薦)



支援の輪

ホシ美容室では、東日本大震災の影響で町に避難された方を対象にカットの無料サービスを行なっています。「みなさん、舟形町の人は温かいとおっしゃってくれます。うれしいですね。私たちにできることがあるはずですよ。」と店主の石塚恵美さん。

4月12日には、小国川漁協が焼き鮎を提供。また、16日から、食生活改善推進員の方がボランティアで昼食をつくるなど支援の輪は大きくなっています。



固定資産評価審査委員に押切さん

固定資産評価審査委員に押切公直さん(長者原)が4月15日付で任命されました。固定資産評価審査委員会は、固定資産課税台帳に登録された価格についての異議申し立てを審査するなどします。



町内会長が意見を交換

4月14日、町内会長会議と町内会長連絡協議会が開催され、町内会長へ委嘱状が手渡されるなどしました。

舟形町連合町内会長の伊藤準悦さん(幅町内会長)は「今、町内会、そして町が一丸となる時です。」と話されました。また、ワークショップが行われ、「震災時の対応と課題」について意見を交換しました。ある町内会長は、行政に頼るだけでなく、町内会での「備え」が必要と話していました。



狂犬病予防注射

4月12・13日、狂犬病予防注射を実施。すべての犬は毎年1回、予防注射を受けなくてはなりません。今回受けられなかった方のために6月7日に2回目を予定しています。



石巻市へ見舞金を

4月11日、奥山知雄町長が亀山紘石巻市長に見舞金を届けました。舟形町と石巻市は、石巻新庄地域高規格道路建設促進に向けて共に活動を展開するなどしています。「おむすびの支援など、非常にありがたいです。これらもよろしくお願いします。」と亀山市長は話しました。

舟形町は、今後も被災地への支援活動を継続しますので、みなさんのご理解とご協力をお願いします。



防火の誓い

4月9日、春の火災予防運動に合わせ、防火キャラバンを行いました。消防車両により町内を巡回し、火災の予防を呼びかけました。火災「0」を目指し、みなさんで火の用心に努めましょう。

また、西堀地区に舟形町消防団第3分団第22部が設置されて、初めての防災活動を行いました。

<平成23年度全国統一防火標語>

～消したはず決めつけないでもう一度～



新しい出発

4月8日、舟形中学校で入学式が行われ、新入生の新しい生活がスタートしました。式の中で西田昭一校長は「この出会いを大切に、校訓の『向上・協力・練磨』の精神と『優』を意識し、笑顔が輝くチーム舟中に。」と歓迎。

新入生を代表して芳賀壱成くんは「今日入学式ができることはすごく幸せ。震災で入学式ができない仲間の分までがんばります。」とあいさつしました。

また、4月7日には全小学校で入学式が、4月5日には舟形ほほえみ保育園で入園式が行われました。

入学・入園者数

舟形ほほえみ保育園 37名

舟形小学校 23名

長沢小学校 12名

富長小学校 10名

堀内小学校 2名

舟形中学校 52名



全小学校へ登校班旗

4月7日、安協舟形支部より児童が安全に登校できるようにと全小学校へ登校班旗が贈られました。通行に不慣れな新入生が加わっています。地域のみなさんの見守り活動もお願いします。





被災地におむすび支援

ボランティアや町内会の方の協力により、3月30日～4月5日にかけて、あったかい「おむすび」を握りました。東日本大震災の被災地の1つ石巻市渡波地区へ。石巻新庄高規格道路建設促進期成同盟会のつながりで最上8市町村合同で実施したものです。

延べ340名の方が参加し、5200個のおむすびを届けました。



支援物資

みなさんより白米、毛布、粉ミルク、衣類、タオルなどが寄せられました。県の一時預かり所へ送ったほか、直接被災地へも運搬しました。

また、町内に避難している方へもお配りしています。石巻市渡波駅前での様子。



被災者支援室を設置

東日本大震災で被災し、生活再建に不安をもつ被災された方々に対して、総合的に相談に応じるため「舟形町被災者支援室」を開設しました。ご利用ください。

舟形町被災者支援室

電話(32)2111(内線312)



堀内駐在所に多田英明巡查部長

4月から堀内駐在所に勤務の多田英明巡查部長です。「分からないことが多いですが、みなさんの安心安全な生活のために頑張ります。」



町行政相談委員に伊藤宏さん

4月1日付けで伊藤宏さん(舟形第4)が総務大臣から町行政相談委員に委嘱されました。行政機関などの業務に対する要望、意見などの相談を受けます。



人権擁護委員に八鍬裕美さん

4月1日付けで、八鍬裕美さん(紫山)が町人権擁護委員に委嘱されました。人権擁護委員とは、基本的人権擁護のための法務大臣委嘱のボランティアです。